

人々のぬくもりを感じながら
80歳になるまでしゃべり続けたい！



のだゆきさん(和泉町)

マーケット
ピッチエフエム「Pitch HAPPY市場」の
木曜日を担当。安城七夕まつりでは6日
(日)午後の公開生放送に登場します。

今年も安城七夕まつりの公開生放送で番組を担当します。今から本当に楽しみです。そもそもエフエム放送でパーソナリティーを担当するようになったのは、安城七夕まつりがきっかけなんです。4年前、七夕まつり限定のミニエフエム局で番組を立ち上げた時、ピッチエフエムに誘っていただきました。

子どものころから、基本的におしゃべり。番組中にどうにも止まらなくて話の途中で放送がぶつりと切れてしまった、なんていう失敗もありました。それから好奇心だけは旺盛でしたね。それは未だに変わりません。

毎回、毎回、生放送の始まる前は緊張します。えっ、見えない？きくと番組がスタートしてしまうと「のうてんきスイッチ」がオンになってすべてを忘れ、楽しくなって後は全速力で駆け抜けていく感じになるのでそう見えないのかも？ラジオって



PRに訪れたミスセタの皆さんと生放送中。

筆者のつぶやき

スタッフの皆さんに何うと「ナチュラル」「司会者なのに感動のもらい泣きでしゃべれなくなったことがある」「想像もつかないような変なことを言う」との声が。一方「本当は気を使っている」という声も。本人は「さびしがり屋で恥ずかしがり屋」と自己分析。さてさて真実は？ぜひ、七夕まつり公開生放送での生の姿と声で確かめてみてください！

声だけなんですけど、感情とか思いとかがリスナーの皆さんに伝わってしまっているんですね。だから、うそとか思ってもいないようなことを口先だけで話すとすぐにわかってしまいます。逆に、放送ブースの中で一人でしゃべっていても、人のぬくもりとかを感じられるんです。それがラジオの魅力。

普通に生活していると、流れていってしまいがちな日常の「コマを拾い出してみなさんに紹介する。そして、それに対して別の人から反応が返ってくる。そんなやりとりをしているとラジオって本当にいいなと思いますね。

沖縄に、80歳になっても自宅から放送しながら現役でしゃべっているおばあちゃんがいるんです。理想ですね。「あの人まだしゃべってる」なんて言われながら、いつまでもいつまでもしゃべり続けていたいと思います。